

令和 3 年 度

蕪 崎 市 高 校 生 議 会



写真：蕪崎市議会議場

蕪 崎 市

令和3年度蕪崎市高校生議会 質問・答弁集目次

市長	挨拶	3
市議会議長	挨拶	4
質問・答弁		5
橋本聖弥	さん (蕪崎工業高等学校3年)	5
市川涼太	さん (蕪崎高等学校1年)	8
川久保汐恩	さん (蕪崎工業高等学校2年)	10
秋山凜乃	さん (蕪崎高等学校1年)	12
浅川哉人	さん (蕪崎工業高等学校1年)	14
楯澤紅葉	さん (星槎国際高等学校3年)	16
大川春哉	さん (北杜高等学校3年)	18
上原爽世花	さん (蕪崎高等学校1年)	20
山口愛留	さん (蕪崎工業高等学校3年)	23
青山実樹	さん (蕪崎高等学校1年)	25
向山紫苑	さん (蕪崎工業高等学校2年)	27
高橋温	さん (蕪崎高等学校1年)	29
山口光来	さん (蕪崎工業高等学校1年)	31
市議会副議長	講評	33

令和3年度韮崎市高校生議会

高校生議員（15名）

議長 望月蒼天 議員（韮崎工業高等学校3年）

副議長 喜多井 柚 議員（韮崎高等学校1年）

質問

1番 橋本聖弥 議員（韮崎工業高等学校3年）

2番 市川涼太 議員（韮崎高等学校1年）

3番 川久保汐恩 議員（韮崎工業高等学校2年）

4番 秋山凜乃 議員（韮崎高等学校1年）

5番 浅川哉人 議員（韮崎工業高等学校1年）

6番 楯澤紅葉 議員（星槎国際高等学校3年）

7番 大川春哉 議員（北杜高等学校3年）

8番 上原爽世花 議員（韮崎高等学校1年）

9番 山口愛留 議員（韮崎工業高等学校3年）

10番 青山実樹 議員（韮崎高等学校1年）

11番 向山紫苑 議員（韮崎工業高等学校2年）

12番 高橋 温 議員（韮崎高等学校1年）

13番 山口光来 議員（韮崎工業高等学校1年）

市議会議員

議長 浅川裕康君

副議長 清水康雄君

地方自治法第121条の規定により出席する予定であった者の職氏名

市長 内藤久夫君 副市長 内藤一穂君

秘書人事課長 樋口治元君 総務課長 筒井清重君

総合政策課長 長谷川尚樹君 市民生活課長 野口文香君

税務収納課長	竹野 はるみ 君	福祉課長	横森 弘樹 君
産業観光課長	東條 匡志 君	長寿介護課長	保阪 明美 君
健康づくり課長	貝瀬 京子 君	建設課長	保阪 昌春 君
営繕住宅課長	千野 晃 君	上下水道課長	保坂 武資 君
会計課長	小澤 登 君	市立病院局長	宮澤 祐二 君
教育長	堀川 薫 君	教育課長	佐藤 道平 君

事務局職員出席者

議会議務局長	今福 治 君	書記	望月 佐知恵 君
書記	横森 俊樹 君		

◎市長あいさつ

昨年来から、新型コロナウイルス感染症により、学校においても、臨時休校や様々な行事の中止をはじめ、感染対策など皆さんも大きな影響を受けていることと思います。

こうした中、過日、東京2020オリンピック、レスリンググレコローマンスタイル60kg級において本市出身の文田健一郎選手が見事、銀メダルを獲得されました。

本市出身者、初のメダリスト誕生は、多くの市民に感動を与え、皆さんも希望と勇気をもたらしたのではないのでしょうか。

さて、高校生議会は、韮崎市の将来を担う皆さんから、本市のまちづくりに対する率直なご意見やご要望をお伺いし、“韮崎市”がより豊かで住みやすく、魅力的なまちづくりを進めるために実施するものであります。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、残念ながら中止とさせていただきましたが、皆さんから頂いた質問・提言は市政運営の参考とさせていただき、だれもが住み続けたい・住みたいまちづくりに活かしてまいります。

ご承知のように選挙権年齢が18歳以上となり、さらに来年4月から、約140年ぶりに成年年齢が20歳から18歳へと改正されます。

これにより、契約行為をはじめ、本人の意思で出来るが増えるなど、大人としての責任と自覚をもって、社会に参画することになります。

皆さんも将来の事を真剣に考え、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という意識を、市政への質問・提言を契機として、一層高めていただくことをご期待申し上げます。

結びに、高校生議員の皆さんの益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げますとともに、高校生議会の準備に当たり、ご尽力いただきました各高等学校の先生方をはじめ関係各位に心より感謝申し上げます、私のあいさつといたします。

韮崎市長 内藤 久夫

◎市議会議長あいさつ

高校生議会開催に向けて、多くの準備をされてきたことと存じます。このたび、急きょ開催が中止され、議場で質問するという貴重な体験ができなかったことは、皆さんも本当に残念に感じていることでしょう。しかしながら、この開催に向けて準備されてきたことが無駄になることはありません。質問がうまくいくよう、保護者や先生、そして友人と、韮崎市の課題等について、これまでにないくらいお話をされたことと存じます。開催はできませんでしたが、普段の高校生活では得られない貴重な経験をされたのではないのでしょうか。是非この経験を今後の皆さんの成長に役立てていただきたいと存じます。

皆さんが質問されたことのほかにも、韮崎市には、改善できる点があるかと存じますし、時代の移り変わりのなかで、これまで課題として認識されていなかったことが課題として浮かび上がってくるかもしれません。皆さんには、これから成長を遂げていくなかで、多くのことを学び、多面的な視野を養っていただきたく存じます。高校生ならではの柔軟な、かつ、まっすぐな思考で、今後も韮崎市のあらゆる分野に関心を抱いていただきたいと存じます。

議会としても、そのような皆さんに恥じることはないよう、真剣に、そして真摯に課題に向き合い、解決に向けて取り組んで参ります。高校生活ご多忙の中とは存じますが、議会傍聴の機会がありましたら、是非とも足を運んでいただけますと幸いです。

終わりに、皆さんは、高校1年生から3年生まで学年は様々で、進級や進学、就職など志向するものも異なるとは思いますが、かぎられた時間を有意義に過ごし、大いに高校生活を楽しんでいただきたく存じます。

そして皆さんの夢が実現され、大きく飛躍されることを期待するとともに、将来の韮崎市を担う人材へと成長していただくことをご期待申し上げ、議会を代表しての挨拶といたします。

韮崎市議会議長 浅川 裕康

◎質問・答弁

○1 番議員 葦崎高等学校1年、橋本聖弥さん

私からは、2点質問させていただきます。

1点目は、公共施設の老朽化に伴う補修について質問させていただきます。

図書館などの建物は、どこでもほとんど補修も行き届いていますが1番修繕が必要だと感じたのは、道路です。私が使用している道路では、とても酷い有様で、中学1年生の時から感じていました。道路の凹凸で転んで学校の制服を破いてしまう人を多数見てきました。

「いつか直してくれるだろう」と思い、そのまま葦崎市の行政を信じ、凹凸の激しい道路を使ってきました。ですが一向に修繕してくれる様子がなく、今回の議会の内容に取り入れ、誰しもが毎日使う公共物の補修に力をいれたいと質問させていただきました。道路以外にも葦崎市が運営する市営のグラウンドも管理棟がひどく、立て直してもよいと思います。「サッカーの街葦崎」と銘打っているのであればこういった施設も充実させた方がよいと思います。

2つ目は、ごみの不法投棄について質問させていただきます。

私が生活している中で不法投棄されたごみが多く目につきます。以前も、車の窓から段ボールを平気で捨てていた非常識な方を見ました。捨てられたごみを見る限りごみの不法投棄する人たちは、それが日常になっていると思います。このまま双方が平気な顔で不法投棄を見て見ぬふりを続けていくと、自然に囲まれた住みやすい葦崎市がダメになっていくと思います。そこで個人に対して何かしらの対策を講じることはできるでしょうか？個人ではなくてもごみの不法投棄をなくす手段があればお聞かせいただきたいです。

葦崎市全体できれいな街作りの一環としてごみ拾いイベントを開催してみるのはいかがでしょうか？ごみの量や大きさによって表彰を送ってみるのもよいと思います。葦崎市の活性化と自然保護などにもつながるよいイベントになると思います。

年間を通して葦崎市のイベントが少なく、こういったイベントでもっと葦崎をPRしてもよいのではないのでしょうか。

○市長答弁

韮崎工業高等学校、橋本聖弥議員に対する答弁を行います。

1 公共施設（市営施設・公園等）の老朽化に伴う補修について

道路の老朽化による段差等の危険箇所につきましては、学校、駅周辺等の利用者の多い道路を中心にパトロールを実施し、安全確保に努めているところであります。

しかしながら、市内全域の道路状況の把握は困難でありますので、利用者等からの情報提供により補修対応しております。

橋本聖弥議員が、発見された危険箇所につきましては、具体的な場所等を建設課までご連絡いただければ、早急に対応をまいります。

2 ごみの不法投棄について

不法投棄は犯罪行為であり、自然環境に悪影響を及ぼすだけでなく、そこから発生する有害物質が私たちの健康や生活を脅かすことにもなります。

この不法投棄を無くすためには、まずは、市民一人ひとりが、決して許される行為ではないという認識を持つことが大切であり、イベントなどの活動を通じ、住民同士が交流を深め、地域を愛する心を育てることが重要であると考えております。

橋本聖弥議員ご提案のゴミ拾いイベントにつきましても、今後、市民の不法投棄防止に対する意識啓発の参考にさせていただき、更なる環境保全に努めてまいります。

なお、本市の取り組みにつきましては、市民生活課長より、お答えいたします。

他の答弁につきましては、教育委員会より、お答えいたします。

【市民生活課長答弁】

本市では、不法投棄に対する取り組みといたしまして、現在、防止柵及び防止看板の設置や監視パトロールを実施しております。

また、ゴミ拾いイベントといたしまして、地域と協働による「ごみゼロの日クリーンキャンペーン」や「河川愛護デー」の他、個人や各種団体が公園や道路等の公共施設の里親となり、年間を通して環境美化活動を行う、アダプトプログラム制度があります。

【教育長答弁】

1 公共施設（市営施設・公園等）の老朽化に伴う補修について【教育委員会答弁】

市営総合運動場につきましては、整備基本計画において公表しているスケジュールに基づ

き、老朽化が懸念される体育館やグラウンド管理棟を令和7年度に解体することとしております。

管理棟跡地は新たな駐車場や倉庫建設用地とする計画であり、体育館跡地に整備を予定している公園と併せ、今後、配置場所等について検討してまいります。

○2番議員 葦崎高等学校1年、市川涼太さん

私からは、2点質問をさせていただきます。

1つ目は、新型コロナウイルスの対策についてです。

新型コロナウイルスが現れだして1年以上が経った今でも、日本含め世界ではコロナウイルスの対策に追われています。そんな中、以前葦崎市の障害者施設にて、大規模なクラスターが発生したという報道を見ました。変異株が発生し始めている今、市内で感染者を出すことは避けなければならないことであると思います。そこで、今一度葦崎市内では感染対策に向けて、市内で営業する店舗や施設などの感染対策状況の把握方法をどのように行っているか、お聞かせ願いたいです。

2つ目は、葦崎市の財政についてです。

日本では近年、少子高齢化が大きな課題となっております。地方では若い人たちが都市圏へと流出し、高齢者が多くなっていく状況となっております。そんな中、もう一つの問題として、財政確保が困難になっていくことが挙げられると思います。公共施設や新型コロナウイルス対策にも予算を確保する必要がある今、令和3年度当初予算編成方針では財政調達手段として「クラウドファンディングを使った資金調達」という案が挙げられておりました。ですが、ふるさと納税といったなじみのある仕組みと違って、我々一般市民にとってはあまりクラウドファンディングの具体的なイメージが湧かない状態です。そこで、葦崎市は、どのようにクラウドファンディングを活用して財政を確保しようとしているのか、お聞かせ願いたいです。

○市長答弁

葦崎高等学校、市川涼太議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 新型コロナウイルスの対策について

市内で営業する店舗および施設につきましては、市が支給する「グリーン・ゾーン認証取得応援給付金」などの申請時の確認や職員の訪問を通して、感染対策の状況を把握しております。

引き続き、市川涼太議員ご指摘のとおり、市内で感染者を出さないよう、予防対策に努めるとともに、市ホームページや防災アプリなどにより、市民の皆様に注意を促してまいります。

2 葦崎市の財政について

本市の財政に興味を持ち、当初予算編成方針までご覧いただいたことを大変うれしく思っております。

市川涼太議員のおっしゃるとおり、本市の財政状況は、少子高齢化や人口減少、さらに公共施設の老朽化等の対策のため、財源確保が重要課題となっております。

このため、当初予算編成方針において、資金調達手法の一つとしてクラウドファンディングを例示したところでありますが、これは、ふるさと納税が「返礼品の種類」で選ばれるのに対し、「支援金の使い道」が重要視されるものであり、市が特定の目的や企画のために資金を募るものであります。

現在、樹齢約330年の本市のシンボルともいえる「わに塚のサクラ」を保全していくために、ふるさと納税制度の枠組みによるクラウドファンディングを実施すべく検討しているところであり、今後も、多くの人や企業などからご賛同いただける事業について研究し、積極的にこの制度を活用した財源確保に努めてまいります。

○3番議員 韮崎工業高等学校2年、川久保汐恩さん

自分からは2点質問させていただきます。

まずは、桐の木橋先の農道の路面工事について質問させていただきます。私は北杜市須玉町から韮崎工業高校に原付バイクで通っています。その通学路として桐の木橋先の農道を通っています。その農道について問題があります。それは、路面状態が悪く、車やバイク、自転車などに傷がついたり、タイヤがパンクする可能性があり、このままの状態が続くと韮崎市の地域の人たちにも不都合となり、事故にもつながったりと思うので早急に直すべきだと私は考えています。

次に下宿の交差点について質問させていただきます。これは私を含め、本校の生徒の多くが通学路として使っています。そして、下宿の交差点は毎朝必ず渋滞しており、待つ時間が長く時間に余裕がないときに大変困っています。この交差点は船山橋方面の通行量が非常に多いことが特徴として挙げられます。そのため、交差点で渋滞が起きているので、改善していくことが必要となります。

その具体的な改善例を上げてみますと、まず信号機の点灯時間を今より少し長くしたりすれば、そこの交通の便がよりスムーズになりストレスをあまり感じることなく通行できると考えています。この交差点問題が解決することでほかの市からの通学、通勤している人たちにもよい影響がでると思います。以上、2件について早めに改善や対策についてお願い致します。

○市長答弁

葦崎工業高等学校、川久保汐恩議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 桐の木橋先の農道の路面工事について

川久保汐恩議員ご指摘の桐の木橋から葦崎文化ホールへの道路につきましては、交通量が多いことが原因で、舗装の傷みが激しい状況であります。

現在、市の道路等長寿命化計画、市道舗装修繕計画に基づき、低コストで効果が上がる表面処理工法により、危険な箇所から、順次修繕を進めております。

全線の舗装整備には、何年もの歳月が必要となりますので、通行する際には、十分注意していただきたいと思います。

また、市といたしましても、引き続き、安全・安心な道路整備に努めてまいります。

2 下宿の交差点の渋滞解消について

川久保汐恩議員ご提案の信号機の点灯時間につきましては、県の公安委員会において、交差点の交通量等の道路交通環境を調査するとともに、車両感知機による周辺の渋滞状況なども踏まえ、調整を行っているところであります。

市といたしましては、これまで、道路管理者である国や県に対し、繰り返し渋滞の解消に向けた対策を強く要望し、下宿交差点及び船山橋交差点に、右折レーンや左折レーンなどを設置していただきましたが、朝夕の通勤・通学時間帯は交通量が多いため、抜本的な解決には至っておりません。

引き続き、大規模な整備も含め、国や県に強く要望してまいります。

○4番議員 韮崎高等学校1年、秋山凜乃さん

私からは2点質問させていただきます。

子どもが安全に遊べる場所の確保について

今、公園などの子どもの遊び場が減少しているのではないかと思います。実際に私の家の近くにある公園はすでに手入れが行き届いておらず、もう誰も利用していない状況です。また、最近では家庭用ゲーム機やスマートフォンの普及により、外で遊ばなくなった子どもも増えました。さらに、年々地球温暖化の影響で気温が上昇し、今現在も猛暑が続いています。外で遊べば熱中症や脱水症状になる恐れがあり、外で遊ばすことを懸念している保護者も増えてきました。以上の理由から現在、外で遊ぶ子供たちが減り、それに伴って公園の整備が疎かになり、子どもの遊ぶ場所が減少しているといった状態です。この課題を改善するためにも、公園の整備を徹底するなどして子どもの遊ぶ場所を確保してほしいです。

地元の進学・就職率の向上について

韮崎市は、都市部と比べて圧倒的に仕事の幅が狭いと思います。地元の進学・就職率の課題をなくすためには、やはり地域の雇用を増やすことが必要です。今、都市部では仕事の幅が格段に増え、自分に合った仕事を求めて人口が都市部に集中しているといった状態が続いています。このままでは活気ある韮崎市も衰退してしまい、人口も減る一方です。そこで、韮崎市の雇用を増やし、地元で進学や就職しやすい環境を作ってほしいです。

○市長答弁

葦崎高等学校、秋山凜乃議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 子どもが安全に遊べる場所の確保について

市内には、葦崎中央公園等の都市公園や午頭島公園などの市立公園のほかに、地域のちびっこ広場等があります。

都市公園及び市立公園の管理や清掃は市が行っておりますが、地域のちびっこ広場等は、地域住民の皆様が行っています。

秋山凜乃議員ご提案のとおり、子どもが安全に遊べる場所の確保のため、公園整備の充実を図ることは、有効な施策であると考えますので、外で遊ぶ子どもが増えるよう、市民からのご意見を伺いながら、研究してまいります。

秋山凜乃議員におかれましても、引き続き公園整備に関心を持っていただき、その際にはご意見をお願いいたします。

2 地元の進学、就職率の向上について

本市では、県下に先駆けて中小企業・小規模事業者振興基本条例を制定し、支援を充実するとともに、就職ガイダンスや女性を対象とした起業セミナーの開催による就業機会の提供に加え、新たな雇用の創出を図るため、上ノ山・穂坂地区工業団地を拡張し、県内外からの企業誘致にも取り組んでいるところであります。

また、ミアキスにおいて、葦崎しごと展を開催するほか、県内大学生との交流により、地元への進学の魅力を伝えていただいております。

さらには女性が働きやすい職場環境が整備されるよう企業へ啓発していくなど、今後も、活力に満ちた豊かなまちづくりを推進し、進学や就職しやすい環境づくりに努めてまいります。

○5番議員 韮崎工業高等学校1年、浅川哉人さん

私からは、2点質問させていただきます。

1つ目は、武田橋の渋滞解消のための信号機等の改善についてです。武田橋においては、右折レーン増設並びに道路の拡幅がなされ平成二十年に供用開始となっているとのことですが、その後十数年の経過の中で交通量も含めた変化があると思ひ提案します。登校時に武田橋周辺の交差点を利用するのですが、そのときに橋の上とその周辺で渋滞が起こります。自転車で通るのですが、なかなか進まず5分くらい待つときもあります。歩道を通ろうとすると登校中の中学生とはちあわせになって危険に感じます。このような状況なので、渋滞については市役所側の武田橋北詰交差点の青を長くして橋の上での渋滞を少しでも解消し、武田橋へ右折する御堂住宅側の武田橋西詰交差点の信号機に右折用の信号をつける対応に加えて、自転車専用の道を作ることを提案します。

2つ目は、地域の野良犬や野良猫による住民の被害についてです。私の住んでいる円野の地域では、野良猫が多く、その猫が道で排泄をしたり、突然飛び出してくるために急ブレーキをかける車もあり、とても危険です。私の知人の話では入戸野という地域でも同様の被害がみられているそうです。動物が影響している交通事故はあるので、そういったことを防ぐことを含めて、市として何らかの対応をしていただきたく思います。

○市長答弁

韮崎工業高等学校、浅川哉人議員に対する答弁を行います。

1 武田橋の渋滞解消のための信号機等の改善について

武田橋は、右折レーンの増設と道路の拡幅により、以前に比べ、格段に交通状況が改善されましたが、今なお、渋滞が解消されない状態が続いております。

浅川哉人議員ご提案の信号機の点灯時間につきましては、先に川久保汐恩議員にお答えしたとおり、県の公安委員会において、交差点の交通量等の道路交通環境を調査し、周辺の渋滞状況なども踏まえ、調整を行っているところであります。

また、西詰交差点の信号機の右折信号につきましては、交通渋滞を改善する一つの案と考えますので、安全と円滑の両方が確保できるよう、県警察へ要望してまいります。

なお、自転車専用の道につきましては、法律で車線や路肩の幅が決められておりますので、現状では、右折レーンをなくすか橋を広げない限り、設置することは困難であります。武田橋の大規模改修などが計画された場合には、検討していただけるよう要望してまいります。

川久保汐恩議員に対する答弁（参考：引用）

2 下宿の交差点の渋滞解消について

川久保汐恩議員ご提案の信号機の点灯時間につきましては、県の公安委員会において、交差点の交通量等の道路交通環境を調査するとともに、車両感知機による周辺の渋滞状況なども踏まえ、調整を行っているところであります。

市といたしましては、これまで、道路管理者である国や県に対し、繰り返し渋滞の解消に向けた対策を強く要望し、下宿交差点及び船山橋交差点に、右折レーンや左折レーンなどを設置していただきましたが、朝夕の通勤・通学時間帯は交通量が多いため、抜本的な解決には至っておりません。

引き続き、大規模な整備も含め、国や県に強く要望してまいります。

2 地域の野良犬と野良猫による住民の被害について

現在、本市では、野良犬に対しては、檻などを用いての捕獲を行い、野良猫などに対しては、不妊・去勢手術に係る費用を助成し、頭数を減らす取り組みを行っております。

犬や猫は愛玩動物であり、「動物愛護管理法」や「山梨県動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、飼い主の方々に、適正な飼育が明確に義務付けられているため、引き続き、適正飼育や繁殖制限などについて周知してまいります。

○6 番議員 星槎国際高等学校3年、栢澤紅葉さん

私からは学校のICT化について質問させていただきます。

私は高校3年生です。なので将来について考えることが多くなりました。自分だけじゃ分からない問題も出てきますが、先生に相談したくても先生が忙しそうだったり、面と向かって言うのは言い出しづらかったりと躊躇してしまいなかなか言い出せませんでした。

同じ高校3年生や受験を控えている中学生3年生、他の学年でも同じことを考えている生徒さんは沢山いると思います。

そこで、電話でも学校以外の場所でやりとりはできますが、少しハードルが高いなと思い、メールやチャットなどでやり取りできるものならもっと気軽に言えるのではないかと考えました。

学校専用のやりとりができるアプリの開発、又は既存のアプリを使用し学校でなくても先生と連絡が取れる環境が理想だなと思いました。

学校専用のチャットアプリの使用はいつでも先生に気軽に相談できる。という利点の他に、先生を含めたグループチャットなどがあると予定、課題の確認、持ち物などの指示、質問に対して先生や生徒が答えるなどの質問、回答が先生の負担も少なくできると考えられます。更に月のお便り、時間割を画像として配布することで紙の節約にもなると思い地球環境にも良いと思います。

他には、携帯の持っていない生徒にはタブレットなどの配布、それに加えて学校の通信環境の整備なども必要になって来ると思います。

近畿大学附属高等学校では生徒は1人1台iPadを所有していて、授業やプレゼンテーション、出欠確認から先程提案した生徒とのコミュニケーションも、更には学習時間の管理までiPad 1台で完結できる仕組みになっているそうです。様々なメリットがある学校のICT化。市からの考えをお願い致します。

○教育長答弁

星槎国際高等学校3年 榎澤紅葉議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 学校のICT化について【教育委員会答弁】

本市では、国のGIGAスクール構想に基づき、市内小中学校の通信環境の整備を行い、本年度から児童生徒に1人1台のiPadを配備し、個に応じた学びや創造性を育む学びを一層充実させる取組みをスタートしております。

また、先月には、教師が児童生徒一人ひとりの理解度と学習時間を把握し、習熟度に応じた課題を出題する機能やメッセージのやり取りができるコミュニケーション機能を備えた個別学習ソフトを導入し、活用に向け準備を進めております。

榎澤紅葉議員ご指摘の教員の負担軽減やコスト面での削減効果をはじめ、ICT化による様々なメリットを活かし、これからの時代を生きる児童生徒に相応しい資質・能力を育成してまいります。

なお、今後、高等学校段階においても1人1台端末環境の整備が図られ、デジタル社会にふさわしいICTを活用した新しい学び方が推進されていくとのことであります。

○7番議員 北杜高等学校3年、大川春哉さん

私からは韮崎市の海外派遣事業について質問いたします。私は一昨年度、韮崎市の事業の一つであるフェアフィールド中学・高校生派遣事業に参加しました。そこでの経験は普段の生活ではできない貴重なことばかりで、今でも本当に参加して良かったと感じています。これからグローバル化が加速することを考えると、これから海外派遣事業の価値は高まり、市の人材育成に大きな役割を果たしていくと思います。そこで私は韮崎市の海外派遣事業を更に拡大しても良いのではないかと考えています。派遣先をアジアやヨーロッパなどへ拡張すれば、多様な体験を学生に提供できるようになります。またその派遣先での体験も企業訪問やインターンシップをベースとし、派遣学生の将来の選択肢や可能性をさらに広げられれば、より意義のある派遣事業になるのではないのでしょうか。実際に神戸市では、起業家育成のための若年層向けシリコンバレー派遣プログラムが展開されており、参加者が派遣後に起業やスタートアップに参加するなど、神戸市の経済の持続的成長を促進させています。韮崎市で現在行われている政策である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「しごと」という観点から考えても海外派遣事業の拡大は意味のあるものではないのでしょうか。

もう一点、屋外バスケットの設備について質問いたします。韮崎市営体育館の外には屋外バスケットゴールが設置されており、無料で使えるため特に私を含めた多くの学生が普段利用しています。ですが、コート地面には凹凸が多く、ボールのバウンドが悪くなったり怪我の原因になったりしています。またラインも引かれていないので、快適にプレーできません。現在韮崎市ではスポーツ振興を目標とした韮崎市営総合運動場整備基本計画が進められていると思いますが、その一環として屋外バスケット施設の見直しをお願いできないのでしょうか。

○市長答弁

北杜高等学校、大川春哉議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 韮崎市の海外派遣事業について

大川春哉議員におかれましては、姉妹都市中学・高校生派遣事業にご参加いただき、ありがとうございました。

派遣事業において、感じられたとおり、国境を越えた結びつきは拡大し、益々、グローバル化が進展してくるものと考えております。

本市では、姉妹都市との関係を基に、明日の国際化を担う人材育成の一助として、フェアフィールド市との相互派遣事業を実施してまいりましたが、さらなる事業の拡大につきましては、今回のパラリンピックでホストタウンとなり友好関係を深めているチェコ共和国と一層の関係強化を行い、派遣に限らずオンラインによる交流も視野に入れ、調査・検討してまいります。

他の答弁につきましては、教育委員会よりお答えいたします。

○教育長答弁

2 屋外バスケットコート設備について【教育委員会答弁】

市営総合運動場整備につきましては、先に、橋本聖弥議員にお答えしたとおり、体育館やグラウンド管理棟の解体を令和7年度に予定しております。

体育館跡地は、芝生広場を中心とした新たな公園に生まれ変わる計画でありますので、利用の多い屋外バスケットボール施設につきましても、他の遊具の配置などと併せ、今後、実現に向け取り組んでまいります。

橋本聖弥議員に対する答弁（参考：引用）

1 公共施設（市営施設・公園等）の老朽化に伴う補修について【教育委員会答弁】

市営総合運動場につきましては、整備基本計画において公表しているスケジュールに基づき、老朽化が懸念される体育館やグラウンド管理棟を令和7年度に解体することとしております。

管理棟跡地は新たな駐車場や倉庫建設用地とする計画であり、体育館跡地に整備を予定している公園と併せ、今後、配置場所等について検討してまいります。

○ 8 番議員 韮崎高等学校 1 年、上原爽世花さん

私からは 2 点質問させていただきます。

近年、SDG s（持続可能な開発目標）が注目され、メディアや企業等で積極的に取り入れられています。今、そして未来の地球の保全のためにSDG s の取り組みは必要です。この昨今の状況を踏まえた韮崎市として行っているSDG s に関する事業、取り組みを教えてください。また、市の活動だけでなく、住民への意識啓発活動も大切になると考えています。様々な業務により、多忙を極めていると思いますが、市による事業だけでは自治体としてのSDG s の取り組みを完結させることはできないと思います。住民の理解と協力を求める運動も必要です。市と住民が一体となってSDG s の取り組みに参加することが必要だと考えます。そこで、市のSDG s の取り組みを住民にどのように発信しているか、そして住民参加型の活動が何かありましたら教えてください。

2 点目は、市の魅力の発信についてです。全国的に少子高齢化、人口減少が深刻になっており、韮崎市も例外ではないはずです。そのため、移住者を増やし、人口増加につなげることが特に大切になってくると思います。新型コロナウイルスの影響もあり、都市から地方へ移住者を希望する人が増加しています。この機会を逃さずに、積極的にアピールをしていくべきです。また、SNS で情報発信をする際に市の色を出すべきだと考えます。例えば、市のキャラクター「ニーラ」を積極的に登場させる、市のおすすめスポットや魅力、住民の生の声を紹介する動画を SNS へ掲載するなどです。質問としましては、市の魅力を発信するためFacebookやTwitter等のSNS を活用しているか教えてください。使用しているのであれば、ほかの自治体と差別化を図るために行っていることがあれば教えてください。

○市長答弁

韮崎高等学校、上原爽世花議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 SDGsに関する取組みについて

現在、市が行っている事業は、貧困や飢餓をなくすといった、あらゆる世代の社会福祉施策をはじめ、教育、環境、医療、防災体制の充実のほか、農林商工業の振興など、幅広く、かつ、多くの施策がSDGsに掲げる17の目標に関連しているものと考えております。

また、上原爽世花議員ご指摘のとおり、持続可能なまちづくりのためには、本市においても積極的にその趣旨及び要素を取り入れるとともに、市民と協働した活動が重要と認識しております。

このため、最上位計画である第7次総合計画に位置付けることとし、取組方針を策定した上で、各種のチラシや資料などにSDGsの視点を表示し、情報発信に努めるとともに市民・企業・大学・NPO等の関係者と連携した取組みを推進してまいります。

2 市の魅力の発信について

上原爽世花議員ご指摘のとおり、本市においても少子高齢化及び人口減少は、避けて通れない重要な課題となっております。

このため、ミアキスでのカムバック支援事業をはじめ、移住相談窓口の設置、移住体験ツアーの開催、空き家バンクの推進など、様々な施策を展開し、人口減少の歯止めに取り組んでいるところであります。

これらの内容を含め、観光や暮らしなどの魅力は、市公式フェイスブック、ツイッター、インスタグラムも活用し、フォロワーを増やせるよう、若手職員によるチームを結成し、日々工夫しながら情報発信に努めているところであります。

なお、独自の取組みといたしましては、本年度から住民の皆様の協力を得てSNSなどで情報発信を行う「市民記者制度」をスタートさせるとともに、市内11の町を紹介するテレビ番組「韮崎イレブン歴史探訪」を放映しております。

これまでの放送内容は、市ホームページのほかユーチューブにおいても視聴することができ、8月は円野町を放送いたしますので、ぜひ、ご覧ください。

なお、SDGsに関する取組みの住民参加型の活動につきましては、総合政策課長よりお答えいたします。

○総合政策課長答弁

代表的な住民参加型の活動についてお答えいたします。

災害に強いまちに関係してくる「目標11・住み続けられるまちづくりを」において、被害を最小にするための総合防災訓練を実施しており、ごみ削減に関する「目標12・つくる責任つかう責任」においては、循環型社会の構築を目指した資源リサイクル事業など多くの方の協力を得て実施し、自然保護・生態系の維持に関する「目標15・陸の豊かさを守ろう」においては、甘利山のツツジを守る甘利山クリーン大作戦や特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除活動などを市民主体の活動として行っているところであり、そのほか多くの事業においても、住民の皆さまの協力を得て目標に向かって取り組みをしております。

○9番議員 蕪崎工業高等学校3年、山口愛留さん

自分からは2点質問させていただきます。

1つ目は、蕪崎駅及び蕪崎小学校の送迎車の危険性について質問させていただきます。

登下校時によく蕪崎駅に送迎車を見かけるのですが、駐輪場に向かって歩いている人がいるのに容赦なく突っ込んでくる車や駐輪場前で自転車を出す友人を待っているときに後方から煽るかのごとく自転車の後ろギリギリに止まる車やクラクションを鳴らす車をよく見ます。自分もそういった車に引かれそうになった経験があります。同じく、蕪崎小学校前でも後方から送迎車にクラクションを鳴らされ急かされたり、幅寄せをされた経験があります。確かに送迎時に急ぐのはわかります。ですが、自分が忙しいなどという理由で周囲を危険にさらすのはおかしいと思います。蕪崎市に問うべきことなのか悩みましたが皆が安全に使える道路整備をお願いしたいと思います。具体的には、蕪崎駅のロータリーを増やす、もしくは拡張するなどできればよいと思います。

次に蕪崎の商店街の本町通りでの危険性について質問させていただきます。

この本町通りには信号機のない横断歩道があると思いますが、横断歩道を渡ろうとしている人がいるにも関わらず、停止しない車をよく見かけます。市営のバスやトラックなどは止まってくれますが一般車両はごく一部の車しか止まってくれません。また、横断歩道を渡っている人がいてもスピードを落とさずそのまま走行する車をよく見かけます。今のままではいずれ大きな事故に発展するのではないかと感じています。

信号機のない横断歩道では、道路交通法38条1項で定められた法律に抵触していると思いますが、警察もこの横断歩道で取り締まりをしているところを見たことがありません。今後、大きな事故を発生させないためにもボタン式の信号機をつけて対策を行った方がよいと思います。

○市長答弁

葦崎工業高等学校 山口愛留議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 葦崎駅及び葦崎小学校の送迎車の危険性について

駅周辺道路は様々な目的を持った多くの方が利用する玄関口であり、葦崎小学校前も含め、特に朝の通勤、通学時間帯は混雑する場所です。

山口愛留議員がおっしゃるとおり、葦崎駅のロータリーを増設、拡張することは、より安全に通行するための良い対策ではありますが、周辺に建物等が建ち並んでいる箇所もあり、拡張するための用地を確保することは非常に困難です。

今後、市といたしましても、山口愛留議員が経験された、通学時の事故につながるような危険な体験を活かすためにも、小学校前も含め、駅周辺の安全性への対応について、パトロールの強化や安全運転の注意喚起を促す看板及び路面標示等の設置を検討してまいります。

引き続き十分注意して通行をお願いいたします。

2 葦崎の商店街の本町通りでの危険性について

山口愛留議員ご指摘のとおり、信号機のない横断歩道における歩行者の優先は、法律で規定されております。

昨年、日本自動車連盟が行った調査では、信号機のない横断歩道で一時停止する車の割合は、本県においては、35.8%であり、全国6位という結果でありましたが、浸透しているとは言えない状況にあります。

市といたしましては、ドライバーに「横断歩道は歩行者優先」という意識の向上を図るため、市ホームページや防災アプリ等での呼び掛けや、市役所において全職員で取り組むとともに、県警察及び交通安全協会等の関係機関と連携した啓発活動をさらに強力で推進してまいります。

なお、横断歩道での取り締まり強化や押ボタン式の信号機の設置につきましては、県警察へ要望し、交通事故の防止に努めてまいります。

○10番議員 韮崎高等学校1年、青山実樹さん

私からは、2点質問させていただきます。

まず、市内のグリーン・ゾーン認証施設の状況について質問させていただきます。現在、新型コロナウイルスの影響で、食事をしたり、買い物に出かけたりすることが制限されています。そのような中で、山梨県はグリーン・ゾーン認証施設を設け、感染症に強い環境づくりを強力に後押しし、利用者の安心、信頼を獲得しています。そこで質問です。私たちが住んでいる韮崎市ではどのくらいの店舗がグリーン・ゾーンに認証されているのでしょうか。また、さらに認証施設を増やすため、行っている取り組みをお伺いします。

次に、市主催イベントの基準について質問させていただきます。私は、幼いころから毎年韮崎市で行われるイベントを楽しみにしていました。特に、武田の里にらさき花火大会や、武田の里フェスタ・にらさきには毎年参加していました。しかし今年は、新型コロナウイルスの収束が見通せないなか、4万人もの人が来る花火大会において、感染症対策を行ったうえでイベントを実施することは困難であるということで、中止になったと韮崎市のホームページで調べました。韮崎市を活気づけるためにイベントの早期開催を望んでいます。私も、学校や家庭で感染予防に努めていくのはもちろんなのですが、私たちの生活に楽しみが1つでも増えるように、韮崎市のイベントの再開基準をお伺いします。

○市長答弁

韮崎高等学校、青山実樹議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 市内のグリーン・ゾーン認証施設の状況について

現時点で認証を取得している店舗は、112件であります。

また、認証施設を増やすため、取得した事業者に対して、市独自に10万円の応援給付金を支給し、グリーン・ゾーン認証取得促進に向けた支援を行っているところであります。

2 市主催イベントの基準について

大規模イベントの再開基準につきましては、「山梨県民のワクチン接種率が70%を超える等、新型コロナウイルスに対する集団免疫を会得している場合」や「誰もが特效薬を入手できる状態の場合」、もしくは「新型コロナウイルスが消滅している場合」のいずれかとしております。

「花火大会」や「フェスタにらさき」のような大規模な屋外イベントは、来場者の制限が出来ず、限られた場所に不特定多数の人が出入りする状況では、密集や密接した環境を作らないよう対策をすることは困難であり、感染リスクは非常に高くなると予想されることから、市民の皆様の安全を最優先に考え、本基準を設けたところであります。

青山実樹議員が楽しみにしているイベントが再開できますよう、一日も早いコロナウイルスの終息を願うものであります。

○11番議員 蕪崎工業高等学校2年、向山紫苑さん

私からは2点質問させていただきます。

まず、蕪崎市営総合運動場のテニスコートについてお伺いします。私は高校でテニス部に所属し、練習でこのコートを利用しています。実は、コートの準備をする際にネットのワイヤーが古いものがいくつかあり、とても危険です。市民の誰もが利用する場所なので古いネットは処分し、新しいネットにしていきたいという要求です。また、コートの砂が少ないため地面の滑りが悪く転ぶ人も見かけます。これらを含め怪我等を未然に防ぐ意味において早急に対応をお願いします。また、休日には年配の方も使用しています。少子高齢化が進む中、市民の方々が使用する場所なので、年に1回は砂の補充を行っていただきたいと思えます。

次に国道20号線について質問させていただきます。蕪崎市には国道20号があり県外ナンバーの車やトラックも多く車のおりが激しいです。私は以前、市営体育館を出てすぐの横断歩道を自転車で渡っているとき、車が信号無視し、ぶつかりそうになったことがあります。信号機がある横断歩道でも、特に朝夕の出退勤や登下校の時間帯にパトロールを要望します。交通事故の多くを未然に防止する事がとても重要だと思うので検討していただきたいです。

○市長答弁

葦崎工業高等学校、向山紫苑議員の一般質問に対する答弁を行います。

2 国道20号線について

本市では、青色回転灯付パトロールカーが、児童生徒の登下校の時間帯を中心に、通学路をはじめ、小中学校、保育所等を巡回し、見守りや安全確認などを行っております。

向山紫苑議員のおっしゃるとおり、交通事故を未然に防止する手段としても有効でありますので、今後も継続して実施するとともに、県警察にもパトロールの強化を要望してまいります。

他の答弁につきましては、教育委員会よりお答えいたします。

【教育長答弁】

1 葦崎市営総合運動場のテニスコートについて【教育委員会答弁】

先ず、予備として倉庫に保管しております古いネットにつきましては、早期に処分をいたします。

現在使用しているネットは、購入から4年と比較的新しいことから、当面は使用出来るものと判断しておりますが、安全にご利用いただけるよう日頃の点検を確実にを行い、必要に応じ順次更新してまいります。

次に、コート内の砂につきましては、毎年、専門業者が点検を行い、十分な量の砂を補充しておりますが、使用後のブラシのかけ方が誤っていると、砂をかき出すこととなりますので、現在の受付窓口で伝える方法に加え、注意書きを倉庫の扉等に掲示するなどして、良好な環境が保たれるよう利用者に注意喚起してまいります。

○12番議員 葦崎高等学校1年、高橋温さん

私からは2点、質問させていただきます。

1点目は、水害発生時を想定した避難訓練の実施についてです。葦崎市は明治四十年の台風による河川の氾濫、昭和三十四年に通称「伊勢湾台風」による山崩れやそれに伴う濁水の氾濫など、数多くの水害の歴史をもっています。また、昨今は地球温暖化による大雨の恒常化も叫ばれています。このような状況の中、市では河川が氾濫した場合の「想定浸水深」を示す表示を、市のいたる場所に設置したり、ホームページや防災アプリによる災害情報の発信をしたりするなど、様々な取り組みをしてくださっています。しかし、市民の水害に対する危機意識が足りていないと私は思います。それは、近年大規模な降水が発生していないことで、水害の歴史が忘れられかけてしまっているためだと考えます。危機意識が低いと、災害に対する備えが不十分になり、さらに被害を拡大させてしまうことが懸念されます。そこで、水害発生時のための避難訓練を実施するのはどうでしょうか。現在市が防災週間に行っている葦崎市総合防災訓練は、「大規模災害発生時」を想定していますが、「大規模災害発生時」というのが抽象的な表現で、具体的にどのような事態が発生した際のものなのかが、分かりにくくなっていると思います。このため、市民もなかなか危機意識がもてず、避難訓練に参加しない人がいるのではないのでしょうか。したがって、近年発生リスクが高まっている「水害発生時」を想定した避難訓練を行うべきだと私は考えます。想定の対象が明確になった避難訓練を行うことで、市民も危機意識が共有でき、実際に水害が発生した際に、どんな行動を取ればよいのかということもそれぞれが考えることができます。実施には困難な点もあると思いますが、このことについて市はどうお考えでしょうか。

2点目は、ふるさと納税についてです。ふるさと納税は、葦崎に住んでいない人も、ふるさと葦崎に貢献でき、また、返礼品を通して葦崎市をPRできる、良い取り組みだと思います。葦崎市の返礼品を確認してみたところ、シャインマスカットやぶどう、桃、ウイスキーなど、魅力的なものが多くありました。こういったものを、もっとアピールすれば、県外の人にも葦崎市に興味をもってくれる機会が増えると思います。今後、ふるさと納税について、何か新たなことを考えていますでしょうか。もし考えていることがあれば、お聞かせください。

○市長答弁

菟崎高等学校、高橋温議員の一般質問に対する答弁を行います。

1 水害発生時を想定した避難訓練の実施について

これまで本市では、年1回、秋の防災週間に台風と地震による大規模災害を想定し、総合防災訓練を行ってまいりましたが、地区によっては、地震に対する訓練であると認識されている状況でありました。

このため、本年度からは年2回実施することとし、秋の地震に加え、新たに水害発生時を想定した訓練を、6月に計画したところでありますが、新型コロナウイルスの感染拡大により、やむなく中止といたしました。

高橋温議員のおっしゃるとおり、本市では過去に河川の氾濫により、大きな被害を経験しておりますので、来年以降も水害を想定した総合防災訓練を実施し、市民の円滑な避難行動や危機意識の高揚に繋げてまいります。

なお、実施の際には、議員の皆さんにおかれましては、ご家族や友人と一緒に、積極的に訓練に参加していただきますようお願いいたします。

2 ふるさと納税について

高橋温議員ご指摘のとおり、全国各地から本市を応援したいという思いでご寄附をいただくことは、貴重な自主財源の確保につながるるとともに、本市のPRや地域産業の活性化といった視点からも重要な制度であると考えております。

これまでも、ふるさと納税のためのポータルサイトの追加、魅力ある返礼品の充実、選ばれやすいカタログの作成などを行ってきたところであります。

今後におきましても、全国の地方自治体の中から本市にふるさと納税をしてもらえるよう、さらなるポータルサイトの増設やリニューアルを行うとともに、協力事業者などと連携した新規返礼品の掘り起こし、新型コロナウイルス感染症収束後に市内の山々を登っていただくなどの体験型返礼品の充実等に努め、寄附金の確保に繋げてまいります。

○13番議員 葦崎工業高等学校1年、山口光来さん

私からは、2点質問させていただきます。

1点目は、国道20号線の道路脇の除草計画とその実施についてです。船山橋以東の国道20号線の歩道で、歩道脇に生えた草で足などに切り傷が出来てしまうという友人が多く、このことに関連して今回質問させていただきます。このように草で被害が出ているので葦崎市には、関係各署との連携も踏まえてこの地域の歩道に生えた草の除草を行っていただきたいと思います。併せて市内全域における除草計画とか除草作業とかの今後について、どのようなお考えなのか、教えていただきたいです。

2点目は、葦崎駅周辺の自転車置き場における防犯対策についてです。葦崎駅の駐輪場に自転車を置いておくと、自転車が分解されてしまうといった行為が行われています。これは、刑法261条の器物損壊罪にあたると思います。このような事が、起きていることについて、市としてどのように捉え如何なる対策がとれるのかご検討いただきたいと思います。市民が安全安心な環境の中で生活できるようにするためにも、例えば防犯カメラを付けて、このような犯罪へ対応することを含めて何らかの対応を切に要望いたします。

○市長答弁

韮崎工業高等学校、山口光来議員の一般質問に対する答弁を行います

1 国道20号線の道路脇の除草計画とその実施について

国道20号の歩道の除草作業につきましては、道路管理者である、国土交通省が行っておりますので、速やかに対応していただけるよう依頼いたします。

また、市内全域における除草計画につきましては、各道路管理者が対応しており、市道の交通量が多い路線は、除草作業を業者委託し、見通しの悪い危険箇所など、緊急時には、職員が対応をしております。

しかしながら、道路沿いの除草は箇所も多く早期対応が困難な場合があるため、地元関係者によるボランティア活動などのご協力も、引き続き必要と考えております。

山口光来議員におかれましても、ボランティア活動の機会がありましたら、積極的に参加していただき、住みよい、きれいなまち韮崎へのご協力をお願いいたします。

2 韮崎駅周辺の自転車置き場における防犯対策について

器物損壊などの犯罪に遭われた場合には、速やかに警察署または交番に被害届を提出していただくことが重要であります。

本市では、これまでもサイクルラックや街路灯の設置、放置自転車の撤去を定期的に行うなど、周囲からの見通しを確保し、犯罪が起きにくい環境整備に取り組んできたところであります。

山口光来議員ご提案の防犯カメラの設置につきましては、すでに駅周辺に2台設置してありますので、今後は、新たに警察官が増員された韮崎交番にパトロールの強化を要望するとともに、犯罪抑止のための啓発看板を設置してまいります。

◎市議会副議長 講評

一言講評を述べさせていただきます。

このたびは、高校生の立場、そして高校生らしい視点から、本市における様々な課題等について、ご質問やご提言をいただきました。まさに本来の市議会の本会議さながらの鋭いものであったと思っております。

われわれ市議会議員も、今後の議会活動を行ううえで、非常にご参考になる部分が多々ございました。質問内容も市民生活に直接結びつくものが多く、議員は市民の代表者であることを改めて、自覚したところであります。

学生として、毎日勉学に励む中、皆さんの頑張りに心から感謝と敬意を申し上げます。皆さんがそれぞれ綿密な現状調査をもとに、鋭い質問や非常に魅力的な提案であったと評価させていただきます。

このほか、蕪崎市の今後を見据えた喫緊の課題につきましても、今まさに市議会においても議論している所であり、どれをとっても非常に参考になる素晴らしい内容でありました。

高校生の皆様も、行政や議会の動きに興味をもっていただき、将来の蕪崎市を背負って行っていただくことを希望しております。

結びに、高校生議会を開催するに当たり、ご協力をいただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

蕪崎市議会副議長 清水 康雄